

時代の変化に対応できているのでしょうか？

脱炭素化やデジタル化の動きや、 世界的な食料需給をめぐる リスクに対応してきました。

「エネルギー」「デジタル」「食」の3つを
キーワードに北海道の価値を高めます。

主な取組

01 「脱炭素化」や「再生可能エネルギー」の活用

ゼロカーボン北海道
を掲げ、国を上回る目標を設定

200万kW分の
海底送電ケーブルを
2030年度を目指して
整備する方針が決定

02 世界最先端半導体の「大型投資を誘致」未来技術を積極活用

道内過去最大の投資を誘致
メイドイン北海道の半導体で
経済安全保障にも貢献

北海道データ
センターパークの
実現に向け始動

ドローン
ワンストップ窓口開設
全国初の積雪寒冷条件下
での実証実験を推進

本道の優位性とトップセールスでデジタル産業の集積を推進

03 「食料安全保障」に貢献するとともに本道が誇る食の「生産・販売」を拡大

食料安全保障に関する
推進チームを設置
小麦などの作付け拡大や
飼料生産を支援

スマート
農林水産業
を強力に推進

2022年の道産食品の
輸出額は、目標1,500億円を
1年早く超える見込み
2019年から約4割増を達成。
(目標額:2023年までに1,500億円)
次期輸出拡大戦略を今後策定し、取組を強化